

## 追加クリーニングの概況

保田 時男

(大阪商業大学総合経営学部)

### 1. 追加クリーニングの趣旨

第二次報告書で分析に利用されている NFRJ08 データは ver. 4.0 である。このバージョンは、第一次報告書の刊行後に見つかった DID 変数の誤り等を修正した上で、2011 年 1~2 月に、さらに比較的大きな追加クリーニングをほどこしたものである。追加クリーニングを行ったのは、NFRJ08 回答者の一部を対象に実施したパネル調査 (NFRJ-08Panel) のクリーニング過程で、NFRJ08 データにもいくつかの新たな問題点が見つかったためである。

表 1 のとおり、最終的に、5203 ケース中 1751 ケースに何らかの修正がかかっている。その多くは、形式的な方針の変更によるものであるが、一部の修正は分析に大きく影響する可能性があるため、ここにその概況を示す。

表 1 各ケースで修正された変数の個数 (ver. 3.1→ver. 4.0)

	ケース数	%
修正なし	3452	66.3%
1 変数修正	253	4.9%
2 変数修正	285	5.5%
3 変数修正	305	5.9%
4 変数修正	143	2.7%
5 変数修正	162	3.1%
6 変数修正	151	2.9%
7 変数修正	105	2.0%
8 変数修正	41	0.8%
9 変数修正	28	0.5%
10 変数修正	19	0.4%
11 変数修正	11	0.2%
12 変数修正	44	0.8%
13 変数修正	24	0.5%
14 変数修正	11	0.2%
15 変数修正	10	0.2%
16 変数修正	9	0.2%
17 変数修正	12	0.2%
18 変数修正	4	0.1%
19 変数修正	10	0.2%
20 変数以上修正	124	2.4%
計	5203	100.0%

## 2. 主な修正点

追加クリーニングによる主な修正点は以下のとおりである。

### ①同居家族関係の矛盾を修正

同居家族に関わる複数の変数の間で矛盾が生じている場合、ケースごとに適切な回答を判断してデータを修正した（ほとんどは、配偶者や子どもの○の付け忘れ）。  
例) 問 20 の同居家族の人数と、各続柄の○の数が矛盾する。問 20 の同居家族と子・親等の各続柄への回答（問 13、14…）が矛盾する。

### ②「子どもの配偶者が家族と思うか」に対する異常な有配偶子を修正

各子どもに対して、その子どもの配偶者が家族の一員と思うかを、以下の選択肢で尋ねている（問 13 付問 2(ス)）。

1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない・わからない 4 配偶者はいない

結婚していない子どもは「4」に○をすることを想定した質問であったが、明らかに結婚していないとみなせる子ども（16 歳未満、在学中の同居子等）について、「1」～「3」を回答しているケースが多数見られた（もし結婚したら家族とみなすかどうかを答えているものと予想される）。これらのケースは、「4」に修正した。

修正後のデータでも、実際には結婚していない子どもに「1」～「3」が回答されているケースが多く残っているものと予想されるので、この変数の扱いには注意が必要である。

### ③本人・配偶者・世帯の収入間の矛盾を修正

本人と配偶者の収入の合計が世帯収入より多くなっている場合など、3つの収入間で矛盾が生じている場合、ケースごとに適切な回答を判断してデータを修正した。

### ④複数回答でいずれにも○がないものの処理を変更

ver. 3.1 ではすべての変数の値を 0 としていたが、前回調査（NFRJ03）と同様にすべての変数を 9999（無回答）に修正した。ただし、個別ケースで「いずれにもあてはまらない」という意味であると、周辺データから判断できる場合にはそのように修正した。

### ⑤きょうだい数の無回答の一部を「0人」で埋める

兄・姉・弟・妹の人数に多くの無回答が見られるが、以下の方針で一部を 0 人とみなして修正した。

方法) 健在のきょうだい数について、どれか 1 つでも「1人以上」の数値があれば、健在きょうだい数の無回答は「0人」とみなす。同様に、死亡きょうだい数についても、どれか 1 つでも「1人以上」の数値があれば無回答を「0人」とみなす。この結果、NFRJ03 に近い分布が得られる。

### ⑥変数名・変数ラベル・値ラベルを修正

変数名の間違いを修正した（R13S1DC2\_02A→R13S1DC2\_01、RDAICHO\_A→RDAICHO、

RDAICHO→RSEIKIYOBI)。

値ラベルの間違いを修正した (R13S2LC3\_04\_2、R13S2LC3\_04\_3、R13S2LC3\_04\_4)。

また、いくつかの変数ラベルを修正した (形式的なもので分析に影響はない)。

### 3. 追加クリーニングの手続き

追加クリーニングは以下のような手続きで行った。

#### 3.1 論理エラーの再点検

NFRJ-08Panel のクリーニングのために作成した edit ルール (論理エラーのフラグ) のうち、wave 1 データ (NFRJ08 本体) に対応する 1245 個のルールを適用し、修正が必要な可能性のあるケースの抽出を行った。データは ver. 3.1 に DID 修正パッチを適用し (2010 年 6 月に田中重人委員より配布)、変数名の間違い (R13S1DC2\_02A→R13S1DC2\_01) および値ラベルの間違い (R13S2LC3\_04\_2、R13S2LC3\_04\_3、R13S2LC3\_04\_4) を修正したものである。

その結果、5203 ケース中 695 ケースがいずれかのルールに引っかかり、修正候補となった。末尾の表 2 のとおり、いずれかのケースが引っかかったのは、1245 個中 151 個のルールについてである。

ただし、このルールは異常の「可能性」があるケースを広めに検出するものなので、すべてのケースに修正が必要とは限らない。また、上記、主な修正点④のとおり複数回答の扱い方を変更したことによるものが多く含まれている。これまでのデータに甚大な数のエラーが残っていたことを示すわけではない。

#### 3.2 一括して判断できるエラーを処理 (ver. 3.2 への更新)

以下のエラーについては、個別ケースで検討する必要がないと判断できたので、一括したルールで処理した。修正したデータを ver. 3.2 とした。

- [ed1748]w1 で、問 7 付問 2 でいずれにも○がない (39 ケース) ⇒就労経験がある場合には全変数を 9999 に
- [edx007]w1 で、問 13 付問 3[4] (若年・壮年のみの質問) のいずれにも○がない (139 ケース) ⇒就労経験がある場合には全変数を 9999 に
- [ed1766##]w1 で、離死別者であるが、若年票の問 7 付問 24 に「現在も過去も特定の交際相手はいない」と答えている (65 ケース) ⇒無視して分析者の判断に任せる
- [ed1845#]w1 で、問 9 の回答が全部同じ (300 ケース) ⇒無視して分析者の判断に任せる
- [ed1847#]w2 で、家事について本人の選択肢と配偶者の選択肢を混ぜて 1 つだけ○をしている (22 ケース) ⇒修正できる可能性がないので無視する。
- [ed1860]w1 で、問 17 (ア) のいずれにも○がない (96 ケース) ⇒全変数を 9999 に

- ・ [ed1861]w1 で、問 17 (イ) のいずれにも○がない (152 ケース) ⇒全変数を 9999 に
- ・ [ed1862]w1 で、問 17 (ウ) のいずれにも○がない (104 ケース) ⇒全変数を 9999 に
- ・ [ed1863]w1 で、問 17 (エ) のいずれにも○がない (28 ケース) ⇒全変数を 9999 に

### 3.3 個別ケースの修正検討 (ver. 3.3 への更新)

ver. 3.2 データに対して再び同じ edit ルールを適用し、5203 ケース中 476 ケースが修正候補として残った。これらのケースについて、1 ケースずつ矛盾箇所を確認し、必要な場合は修正を行った。その結果、437 ケースについて、何らかの修正を行い、39 ケースは修正を行わなかった (各ケースの修正内容については、NFRJ08 実行委員会が情報を保有している)。修正の結果、新たな異常が発生することのないように、修正後のデータについては再び edit ルールを適用し、修正ミスが起こっていないことを確認しながら作業を行った。修正したデータを ver. 3.3 とした。

### 3.4 変数ラベルの形式的な修正 (ver. 3.4 への更新)

複数回答の質問について、それぞれの変数の変数ラベルで選択肢がわかるように修正した。また、若年・壮年・高年票に限定した質問の場合、変数ラベルにそのことが明記されているが、一部漏れがあったので修正した (R7S11、R7S12H、R7S12M、R7S13H、R7S13M、R20S1\_08、R20S1\_09)。修正したデータを ver. 3.4 とした。

### 3.5 きょうだい数の無回答の修正 (ver. 3.5 への更新)

兄・姉・弟・妹の人数に多くの無回答が見られるが、以下の方針で一部を 0 人とみなして修正した。健在のきょうだい数について、どれか 1 つでも「1 人以上」の数値があれば、健在きょうだい数の無回答は「0 人」とみなす。同様に、死亡きょうだい数についても、どれか 1 つでも「1 人以上」の数値があれば無回答を「0 人」とみなす。この方法で修正した結果は、NFRJ03 (NFRJ08 に合わせて年齢を 72 歳以下に限定) におけるきょうだい数の分布に近く、適切な修正とみなせる。また、「0 人」を除いて「1 人以上」の数値があったときのみ修正するのは「0 人」の場合には最初から記入されていたものか、調査会社で補ったものか判別できないためである (たとえば、健在兄に「1 人」とあり、死亡兄が空欄だった場合に、「0 人」でデータが補われていたりする)。修正したデータを ver. 3.5 とした。

### 3.6 委員会で再点検 (ver. 3.6 への更新)

追加クリーニングの結果について、2011 年 2 月 6 日に NFRJ08 実行委員会で議論を行い、再点検した。その結果、父母の死亡年について追加すべき事項が見つかったので、8 個の edit ルールを追加し (最終的な edit ルール数は  $1245+8=1253$  個)、5 ケースを修正した。修正ケースは以下の通り。

- ・ [edx044] w1 で、父親の出生年と死亡年齢から算出される死亡年が 2010 年以降にな

っている (1 ケース)

- [edx045] w1 で、母親の出生年と死亡年齢から算出される死亡年が 2010 年以降になっている (3 ケース)
- [edx048] w1 で、父親の出生年と死亡年齢から算出される死亡年に回答者本人が生まれていない (1 ケース)

また、以下の点を修正した。ver. 3.5 への更新できょうだい数の無回答を埋めた結果、きょうだい構成について新たに矛盾を生じるケースが 11 ケースあったのでこれらを修正。配偶者のきょうだいについても本人のきょうだいと同様の方法で無回答を埋めた。修正シンタックスの記入ミス 1 件を修正。修正したデータを ver. 3.6 とした。

### 3.7 変数名の修正漏れを修正 (ver. 3.7 への更新)

NFRJ03 と変数名が一貫しないものを修正した (RDAICHO\_A→RDAICHO、RDAICHO→RSEIKIYOBI)。修正したデータを ver. 3.7 とした。

### 3.8 ver4.0 の確定

2011 年 2 月 14 日時点で更新された ver. 3.7 データを委員会で確認し、ver4.0 データとして確定した。

表 2 ver. 3.1 データへの edit ルール適用結果

[ed1454x] w1 の r4s1g は非該当ではないはず (1 ケース)
[ed1455x] w1 の r4s1y は非該当ではないはず (1 ケース)
[ed1456x] w1 の r4s1m は非該当ではないはず (1 ケース)
[ed1457x] w1 の r4s1a は非該当ではないはず (1 ケース)
[ed1458x] w1 の r4s2 は非該当ではないはず (13 ケース)
[ed1503x] w1 の r7s8 は非該当ではないはず (1 ケース)
[ed1504x] w1 の r7s9 は非該当ではないはず (1 ケース)
[ed1505x] w1 の r7s10 は非該当ではないはず (1 ケース)
[ed1544x] w1 の r13s11c1_01 は非該当ではないはず (7 ケース)
[ed1549x] w1 の r13s11c2_01 は非該当ではないはず (7 ケース)
[ed1554x] w1 の r13s11c3_01 は非該当ではないはず (5 ケース)
[ed1559x] w1 の r13s11c4_01 は非該当ではないはず (4 ケース)
[ed1564x] w1 の r13s11c5_01 は非該当ではないはず (2 ケース)
[ed1634x] w1 の r13s4_00 は非該当ではないはず (3 ケース)
[ed1635x] w1 の r13s4_01 は非該当ではないはず (3 ケース)
[ed1636x] w1 の r13s4_02 は非該当ではないはず (3 ケース)
[ed1637x] w1 の r13s4_03 は非該当ではないはず (3 ケース)
[ed1638x] w1 の r13s4_04 は非該当ではないはず (3 ケース)

[ed1639x] w1 の r13s4_05 は非該当ではないはず (3 ケース)
[ed1640x] w1 の r13s4_06 は非該当ではないはず (3 ケース)
[ed1645z] w1 の r14m_03g は非該当のはず (1 ケース)
[ed1646z] w1 の r14m_03y は非該当のはず (1 ケース)
[ed1647z] w1 の r14m_03a は非該当のはず (1 ケース)
[ed1656z] w1 の r14s1m_01 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1657z] w1 の r14s1m_04 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1658z] w1 の r14s1m_05 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1659z] w1 の r14s1m_06 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1660z] w1 の r14s1m_09 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1661z] w1 の r14s1m_10 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1662z] w1 の r14s1m_11 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1663z] w1 の r14s1m_12 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1664z] w1 の r15s1rlbs1_01 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1665z] w1 の r15s1rlbs1_02g は非該当のはず (1 ケース)
[ed1666z] w1 の r15s1rlbs1_02y は非該当のはず (1 ケース)
[ed1667z] w1 の r15s1rlbs1_02a は非該当のはず (1 ケース)
[ed1668z] w1 の r15s1rlbs1_03 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1669z] w1 の r15s1rlbs1_04 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1670z] w1 の r15s1rlbs1_05 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1671z] w1 の r15s1rlbs1_06 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1672z] w1 の r15s1rlbs1_07 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1673z] w1 の r15s1rlbs1_08 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1674z] w1 の r15s1rlbs1_09 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1675z] w1 の r15s1rlbs1_10 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1676z] w1 の r15s1rlbs1_11 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1677z] w1 の r15s1rlbs1_12 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1678z] w1 の r15s1rlbs1_13 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1679z] w1 の r15s1rlbs2_01 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1680z] w1 の r15s1rlbs2_02g は非該当のはず (1 ケース)
[ed1681z] w1 の r15s1rlbs2_02y は非該当のはず (1 ケース)
[ed1682z] w1 の r15s1rlbs2_02a は非該当のはず (1 ケース)
[ed1683z] w1 の r15s1rlbs2_03 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1684z] w1 の r15s1rlbs2_04 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1685z] w1 の r15s1rlbs2_05 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1686z] w1 の r15s1rlbs2_06 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1687z] w1 の r15s1rlbs2_07 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1688z] w1 の r15s1rlbs2_08 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1689z] w1 の r15s1rlbs2_09 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1690z] w1 の r15s1rlbs2_10 は非該当のはず (1 ケース)

[ed1691z] w1 の r15s1rlbs2_11 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1692z] w1 の r15s1rlbs2_12 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1693z] w1 の r15s1rlbs2_13 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1694z] w1 の r15s1rlbs3_01 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1695z] w1 の r15s1rlbs3_02g は非該当のはず (1 ケース)
[ed1696z] w1 の r15s1rlbs3_02y は非該当のはず (1 ケース)
[ed1697z] w1 の r15s1rlbs3_02a は非該当のはず (1 ケース)
[ed1698z] w1 の r15s1rlbs3_03 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1699z] w1 の r15s1rlbs3_04 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1700z] w1 の r15s1rlbs3_05 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1701z] w1 の r15s1rlbs3_06 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1702z] w1 の r15s1rlbs3_07 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1703z] w1 の r15s1rlbs3_08 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1704z] w1 の r15s1rlbs3_09 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1705z] w1 の r15s1rlbs3_10 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1706z] w1 の r15s1rlbs3_11 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1707z] w1 の r15s1rlbs3_12 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1708z] w1 の r15s1rlbs3_13 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1868z] w1 の r14s1m_02 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1869z] w1 の r14s1m_03 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1870z] w1 の r14s1m_07 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1871z] w1 の r14s1m_08 は非該当のはず (1 ケース)
[ed1742] w1 で、問 3(2)の最終学校卒業年月時点での年齢が誕生年月から算出される値と合わない (1 ケース)
[ed1743] w1 で、問 3(2)の最終学校卒業年月時点での年齢が若すぎて、問 3(1)の学校種に対応しない (2 ケース)
[ed1748] w1 で、問 7 付問 2 でいずれにも○がない (39 ケース)
[ed1749] w1 で、問 7 付問 2 では結婚を機にした仕事の変化を回答している (0 に○がない) が、問 5 で仕事に就いたことはないと答えている (13 ケース)
[ed1750] w1 で、問 7 付問 1 の結婚時点の年齢が生年月から算出される値と合わない (1 ケース)
[ed1751] w1 で、問 7 付問 3 の配偶者生年月と付問 1 の結婚年月から算出される結婚時の配偶者年齢が若すぎる (1 ケース)
[ed1752] w1 で、問 7 付問 3 の配偶者年齢が配偶者生年月から算出される値と合わない (1 ケース)
[ed1753] w1 で、問 7 付問 1 の結婚時年齢が若すぎる (1 ケース)
[ed1754] w1 で、問 7 付問 3 の配偶者現在年齢と付問 1 の結婚年月から算出される結婚時の配偶者年齢が若すぎる (1 ケース)
[ed1757] w1 で、問 7 付問 18 カ (若年のみの質問) で、「子どもはないない」の回答が本人と配偶者で一致しない (5 ケース)
[ed1758] w1 で、問 7 付問 18 キ (若年のみの質問) で、「子どもはないない」の回答が本人と配偶者で一致しない (4 ケース)
[ed1759] w1 で、問 7 付問 18 カ (若年のみの質問) で、「子どもはないない」とあるが、問 13 では健在の子どもが存在する (2 ケース)
[ed1760] w1 で、問 7 付問 18 カ (若年のみの質問) で、1~5,9999 に回答しているが、問 13 では健在の子どもが存在しない (11 ケース)

[ed1762] w1 で、問 7 付問 18 キ（若年のみの質問）で、1～5,9999 に回答しているが、問 13 では健在の子どもが存在しない（11 ケース）
[ed1763] w1 で、問 7 付問 18 カキ（若年のみの質問）で、「子どもはいない」の回答がカとキで一致しない（4 ケース）
[ed1766##] w1 で、離死別者であるが、若年票の問 7 付問 24 に「現在も過去も特定の交際相手はいない」と答えている（65 ケース）
[ed1767] w1 で、問 13 で回答の子どもの人数と問 13 付問 1 で回答の人数が合わない（14 ケース）
[ed1793] w1 で、1 番目の子どもの（エ）にいずれも○がついていない（60 ケース）
[ed1794] w1 で、2 番目の子どもの（エ）にいずれも○がついていない（51 ケース）
[ed1795] w1 で、3 番目の子どもの（エ）にいずれも○がついていない（17 ケース）
[ed1796] w1 で、問 13 付問 3[4]（若年・壮年のみの質問）では出産を機にした仕事の変化を回答している（0 に○がない）が、問 5 で仕事に就いたことはないと答えている（12 ケース）
[ed1799] w1 で、父の年齢が出生年から算出される値と合わない（1 ケース）
[ed1800] w1 で、父の死亡時の年齢が出生年から算出される値と合わない（1 ケース）
[ed1802] w1 で、母が死亡しているのに現在年齢が非該当になっていない（1 ケース）
[ed1804] w1 で、母の死亡時の年齢が出生年から算出される値と合わない（2 ケース）
[ed1808] w1 で、1 人目のきょうだいが中学校以上の年齢のはずなのに、学歴が未就学になっている（5 ケース）
[ed1809] w1 で、2 人目のきょうだいが中学校以上の年齢のはずなのに、学歴が未就学になっている（2 ケース）
[ed1810] w1 で、3 人目のきょうだいが中学校以上の年齢のはずなのに、学歴が未就学になっている（2 ケース）
[ed1820] w1 で、問 15 の兄の人数が付問 1 にいる兄の人数を満たしていない（6 ケース）
[ed1821] w1 で、問 15 の姉の人数が付問 1 にいる姉の人数を満たしていない（4 ケース）
[ed1822] w1 で、問 15 の弟の人数が付問 1 にいる弟の人数を満たしていない（6 ケース）
[ed1823] w1 で、問 15 の妹の人数が付問 1 にいる妹の人数を満たしていない（13 ケース）
[ed1825] w1 で、問 14 では父が生存していないのに、問 20 の世帯員に父がいる（1 ケース）
[ed1826] w1 で、問 14 では母が生存していないのに、問 20 の世帯員に母がいる（2 ケース）
[ed1827] w1 で、問 16 では義父が生存していないのに、問 20 の世帯員に義父がいる（1 ケース）
[ed1828] w1 で、問 16 では義母が生存していないのに、問 20 の世帯員に義母がいる（1 ケース）
[ed1830] w1 で、問 13 では子どもがいないのに、問 20 の世帯員に子がいる（4 ケース）
[ed1832#] w1 で、問 13 では同居している有配偶の子どもがいないのに、問 20 の世帯員に子の配偶者がいる（2 ケース）
[ed1833#] w1 で、問 13 では孫がいないのに、問 20 の世帯員に孫がいる（5 ケース）
[ed1835] w1 で、問 20 の世帯員数と問 20 付問 1 の世帯員が合わない（世帯員が単数の続柄のみのケース）（28 ケース）
[ed1836] w1 で、問 20 の世帯員数と問 20 付問 1 の世帯員が合わない（世帯員が単数続柄+子どものみのケース）（47 ケース）
[ed1837#] w1 で、問 20 の世帯員数と問 20 付問 1 の世帯員が合わない（世帯員が単数続柄+子ども+子どもの配偶者のみのケース）（3 ケース）
[ed1838] w1 で、問 20 の世帯員数が問 13 と 20 付問 1 から考えられる最低限の世帯員数よりも少ない（19 ケース）
[ed1839#] w1 で、問 20 の世帯員数が問 13 と 20 付問 1 から考えられる最大限の世帯員数よりも多い（70 ケース）
[ed1841#] w1 で、夫婦と 18 歳未満の子どもしかいない世帯の世帯収入が、本人と配偶者の合計収入を上回っている（13 ケース）



[ed1842#] w1 で、単独世帯の世帯収入が、本人収入と一致しない (64 ケース)
[ed1845#] w1 で、問 9 の回答が全部同じ (300 ケース)
[ed1846#] w1 で、親とは暮らさずに祖父母と暮している (誤答の可能性が高い) (11 ケース)
[ed1847#] w1 で、家事について本人の選択肢と配偶者の選択肢を混ぜて 1 つだけ○をしている (22 ケース)
[ed1854#] w1 で、1 番目の子どもの年齢が、回答者の年齢と近すぎる (6 ケース)
[ed1855#] w1 で、2 番目の子どもの年齢が、回答者の年齢と近すぎる (4 ケース)
[ed1856#] w1 で、3 番目の子どもの年齢が、回答者の年齢と近すぎる (1 ケース)
[ed1860] w1 で、問 17 (ア) のいずれにも○がない (96 ケース)
[ed1861] w1 で、問 17 (イ) のいずれにも○がない (152 ケース)
[ed1862] w1 で、問 17 (ウ) のいずれにも○がない (104 ケース)
[ed1863] w1 で、問 17 (エ) のいずれにも○がない (28 ケース)
[edx001] w1 で、1 番目の子どもが婚姻できる年齢でないのに配偶者がいることになっている (13 ケース)
[edx002] w1 で、2 番目の子どもが婚姻できる年齢でないのに配偶者がいることになっている (16 ケース)
[edx003] w1 で、3 番目の子どもが婚姻できる年齢でないのに配偶者がいることになっている (11 ケース)
[edx006] w1 で、問 13 では同居している子どもがいるのに、世帯員の中に子どもがいない (66 ケース)
[edx007] w1 で、問 13 付問 3[4] (若年・壮年のみの質問) のいずれにも○がない (139 ケース)
[edx009z] w1 の r14m_01a は非該当のはず (1 ケース)
[edx013] w1 で、2 人目の子どもに (エ) 「孫はにない」とあるが、他の選択肢にも○している (1 ケース)
[edx015] w1 で、1 人目の子どもの距離が「15 分未満～3 時間以上」なのに「別居」になっていない (12 ケース)
[edx016] w1 で、1 人目の子どもの距離が「同じ建物 (玄関も同じ)」なのに「同居」になっていない (1 ケース)
[edx017] w1 で、2 人目の子どもの距離が「15 分未満～3 時間以上」なのに「別居」になっていない (11 ケース)
[edx018] w1 で、2 人目の子どもの距離が「同じ建物 (玄関も同じ)」なのに「同居」になっていない (1 ケース)
[edx019] w1 で、3 人目の子どもの距離が「15 分未満～3 時間以上」なのに「別居」になっていない (4 ケース)
[edx020] w1 で、3 人目の子どもの距離が「同じ建物 (玄関も同じ)」なのに「同居」になっていない (1 ケース)
[edx029] w1 で、兄弟姉妹との距離が全員「15 分未満～3 時間以上」なのに同居世帯員に兄弟姉妹が含まれている (6 ケース)
[edx031] w1 で、世帯員数が無回答であるが、単独でしかない続柄 (配偶者、父、母等) のみで世帯員が構成されている (49 ケース)

注：該当ケースがあったもののみ表示している。網掛けは 15 ケース以上該当したもの。「w1」とあるのは、wave 1 のことで、もともとパネル調査 (NFRJ-08Panel) 用に作成した edit ルールであるために、このような見出しが付いている。NFRJ08 データは、パネル調査 (NFRJ-08Panel) の wave 1 データにあたる。